



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五嶋 祐治朗
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 和田 輝久 TEL (06) 6223-9111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	243,177	16.2	20,392	34.3	25,179	37.4	18,634	23.8
29年3月期第3四半期	209,322	△15.5	15,183	△38.7	18,326	△32.6	15,048	△27.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 24,426百万円(743.2%) 29年3月期第3四半期 2,897百万円(△84.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	467.25	—
29年3月期第3四半期	370.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	467,824	311,468	65.8	7,720.31
29年3月期	433,610	292,275	66.6	7,238.33

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 307,883百万円 29年3月期 288,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
30年3月期	—	75.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	320,000 8.9	26,000 22.9	30,000 21.6	22,000 13.6	551.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	40,800,000株	29年3月期	40,800,000株
30年3月期3Q	920,431株	29年3月期	919,039株
30年3月期3Q	39,880,401株	29年3月期3Q	40,581,979株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(参考情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期累計期間）における世界経済は、米国では景気回復が続く、欧州でも緩やかに回復しているほか、中国を始めアジア新興国では持ち直しの動きが続くなかで推移しました。

日本経済は、個人消費に弱さがみられるものの、雇用情勢が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調にあるなかで推移しました。

化学工業界におきましては、原料価格が上昇基調にあるものの、需要が増加するなど、事業環境は概ね堅調に推移しました。

①全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	209,322	243,177	33,855	16.2%	293,970
営業利益	15,183	20,392	5,209	34.3%	21,151
経常利益	18,326	25,179	6,854	37.4%	24,664
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	15,048	18,634	3,586	23.8%	19,361
1株当たり四半期(当期)純利益	370.81円	467.25円	96.44円	26.0%	478.36円
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	7.4%	—	1.4ポイント	5.9%
ROE (自己資本利益率)	7.2%	8.3%	—	1.1ポイント	6.8%
為替 (\$、EUR)	\$=¥106.62 EUR=¥118.00	\$=¥111.69 EUR=¥128.55		¥5.07 ¥10.55	\$=¥108.36 EUR=¥118.76
ナフサ価格	32,300円/kl	39,900円/kl		7,600円/kl	34,700円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの当四半期累計期間の売上高は、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量が増加したことなどにより、前年同四半期連結累計期間（以下、前年同四半期累計期間）に比べて338億5千5百万円増収（16.2%）の2,431億7千7百万円となりました。

利益面につきましては、生産・販売数量が増加したことによる数量効果や、原料価格よりも販売価格の上がり幅が大きくスプレッドが拡大したことにより、営業利益は、前年同四半期累計期間に比べて52億9百万円増益（34.3%）の203億9千2百万円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益の増加や為替差損益の改善などにより、前年同四半期累計期間に比べて16億4千5百万円の増益となりました。その結果、経常利益は前年同四半期累計期間に比べて68億5千4百万円増益（37.4%）の251億7千9百万円となりました。

特別損益は、投資有価証券売却益が減少したことや、減損損失及び固定資産撤去費があったことにより、前年同四半期累計期間に比べて10億6千2百万円の減益となりました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期累計期間に比べて35億8千6百万円増益（23.8%）の186億3千4百万円となりました。

②セグメント別の概況

[基礎化学品事業]

アクリル酸及びアクリル酸エステルは、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや販売数量を増加させたことなどにより、増収となりました。

酸化エチレンは、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、販売数量は減少しましたが、製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことなどにより、増収となりました。

エタノールアミンは、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

高級アルコールは、販売数量を増加させたことや、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて17.5%増加の889億3千5百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量の増加や、スプレッドの拡大、加工費が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて66.1%増加の91億5千万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことに加え、円安の影響や販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、エチレンイミン誘導品、塗料用樹脂、粘着加工品及び電子情報材料は、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

特殊エステルは、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

洗剤原料などの水溶性ポリマーは、販売数量が減少しましたが、円安の影響などにより増収となりました。

樹脂改質剤及びよう素化合物は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて16.0%増加の1,326億5千7百万円となりました。

営業利益は、加工費や販管費は増加しましたが、生産・販売数量が増加したことやスプレッドの拡大などにより、前年同四半期累計期間に比べて19.8%増加の110億7千6百万円となりました。

[環境・触媒事業]

自動車触媒は、販売数量が増加したことや、貴金属価格が上昇したことにより、増収となりました。

プロセス触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

燃料電池材料、リチウム電池材料、ダイオキシン類分解触媒及び湿式酸化触媒は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

脱硝触媒及び排ガス処理触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて11.9%増加の215億8千6百万円となりました。

営業利益は、プロセス触媒の販売数量は増加しましたが、加工費や販管費が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて1.0%減少の4億9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末（以下、前年度末）に比べて342億1千4百万円増加の4,678億2千4百万円となりました。流動資産は、前年度末に比べて106億1千7百万円増加しました。受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどによるものです。固定資産は、前年度末に比べて235億9千7百万円増加しました。設備投資により有形固定資産が増加したことや時価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、前年度末に比べて150億2千1百万円増加の1,563億5千6百万円となりました。支払手形及び買掛金や借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前年度末に比べて191億9千3百万円増加の3,114億6千8百万円となりました。利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

自己資本比率は、前年度末の66.6%から65.8%へと0.8ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は、前年度末に比べて481.98円増加の7,720.31円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期累計期間）末における現金及び現金同等物は、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出及び財務活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローの収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べて9億6千8百万円減少の507億3千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間（以下、前年同四半期累計期間）の262億9千7百万円の収入に対し、当四半期累計期間は282億9千3百万円の収入となりました。主として税金等調整前四半期純利益が増加したことにより、前年同四半期累計期間に比べて19億9千5百万円の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の221億8千8百万円の支出に対し、当四半期累計期間は223億2千4百万円の支出となりました。前年同四半期累計期間に比べて有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて1億3千6百万円の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の36億6千1百万円の支出に対し、当四半期累計期間は62億3千万円の支出となりました。長期借入れによる収入が増加したものの、前年同四半期累計期間にあった社債の発行による収入が当四半期累計期間になかったことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて25億6千9百万円の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の業績は、平成29年11月7日に発表いたしましたとおり、売上高3,200億円、営業利益260億円、経常利益300億円、親会社株主に帰属する当期純利益220億円を見込んでおります。

通期の連結業績につきましては、平成30年3月期第4四半期の為替レートを110円/米ドル、130円/ユーロとし、ナフサ価格を50,000円/キロリットルの前提としております。

なお、前回発表いたしました報告セグメント別の通期業績予想値は以下の通りであります。

※ご参考：前回発表（平成29年11月7日）報告セグメント別業績予想値

(単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期予想	1,170	113	1,750	145	280	5

(注) 営業利益について、セグメント別合計と全体との差は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,139	54,786
受取手形及び売掛金	64,201	76,078
商品及び製品	28,162	31,287
仕掛品	6,315	4,916
原材料及び貯蔵品	16,632	17,779
その他	13,070	10,288
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	184,509	195,126
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具 (純額)	65,159	57,060
土地	32,607	32,626
建設仮勘定	25,664	50,457
その他 (純額)	44,145	42,655
減損損失累計額	△4,415	△4,445
有形固定資産合計	163,160	178,352
無形固定資産		
その他	3,877	3,710
無形固定資産合計	3,877	3,710
投資その他の資産		
投資有価証券	65,760	74,665
その他	16,370	16,037
貸倒引当金	△66	△66
投資その他の資産合計	82,064	90,636
固定資産合計	249,101	272,698
資産合計	433,610	467,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,615	53,064
短期借入金	9,976	11,809
1年内返済予定の長期借入金	11,583	5,169
未払法人税等	3,378	2,925
賞与引当金	3,065	1,390
その他の引当金	2,685	2,509
その他	11,545	12,137
流動負債合計	86,845	89,003
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	26,374	36,110
退職給付に係る負債	12,072	13,403
その他	6,044	7,839
固定負債合計	54,489	67,352
負債合計	141,335	156,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,396	22,400
利益剰余金	229,092	242,512
自己株式	△6,249	△6,260
株主資本合計	270,277	283,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,247	17,036
繰延ヘッジ損益	11	8
為替換算調整勘定	6,153	7,797
退職給付に係る調整累計額	△16	△649
その他の包括利益累計額合計	18,395	24,192
非支配株主持分	3,604	3,586
純資産合計	292,275	311,468
負債純資産合計	433,610	467,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	209,322	243,177
売上原価	165,488	193,200
売上総利益	43,834	49,977
販売費及び一般管理費	28,651	29,585
営業利益	15,183	20,392
営業外収益		
受取利息	150	140
受取配当金	1,007	1,050
持分法による投資利益	1,810	3,249
不動産賃貸料	822	882
受取技術料	271	340
為替差益	—	123
その他	479	260
営業外収益合計	4,538	6,042
営業外費用		
支払利息	299	318
固定資産廃棄損	25	249
為替差損	316	—
減価償却費	111	119
租税公課	184	193
その他	461	376
営業外費用合計	1,396	1,254
経常利益	18,326	25,179
特別利益		
投資有価証券売却益	1,141	479
特別利益合計	1,141	479
特別損失		
減損損失	—	272
固定資産撤去費	—	129
特別損失合計	—	401
税金等調整前四半期純利益	19,466	25,258
法人税、住民税及び事業税	3,578	5,749
法人税等調整額	849	830
法人税等合計	4,427	6,579
四半期純利益	15,040	18,679
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,048	18,634

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	15,040	18,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,916	4,792
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	△14,788	1,285
退職給付に係る調整額	459	△652
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,730	325
その他の包括利益合計	△12,143	5,748
四半期包括利益	2,897	24,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,175	24,432
非支配株主に係る四半期包括利益	△279	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,466	25,258
減価償却費	12,888	12,795
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,141	△479
減損損失	—	272
固定資産撤去費	—	129
受取利息及び受取配当金	△1,157	△1,189
支払利息	299	318
持分法による投資損益(△は益)	△1,810	△3,249
固定資産廃棄損	25	249
売上債権の増減額(△は増加)	△2,727	△9,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	△300	401
仕入債務の増減額(△は減少)	7,296	6,834
未払消費税等の増減額(△は減少)	△503	647
その他	△1,905	△410
小計	30,432	31,922
利息及び配当金の受取額	2,583	2,996
利息の支払額	△234	△377
法人税等の支払額	△6,483	△6,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,297	28,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,696	△23,538
投資有価証券の売却による収入	1,242	735
関係会社株式の取得による支出	△400	△614
出資金の回収による収入	354	730
その他	△687	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,188	△22,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,070	1,211
長期借入れによる収入	1,280	8,747
長期借入金の返済による支出	△5,340	△10,169
社債の発行による収入	10,000	—
自己株式の取得による支出	△6	△11
配当金の支払額	△6,493	△5,982
非支配株主への配当金の支払額	△13	△2
その他	△18	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,661	△6,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,669	708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,221	446
現金及び現金同等物の期首残高	64,055	51,700
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△1,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,834	50,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(会計方針の変更)

当社は、従来、振当処理の要件を満たす為替予約については振当処理を、金利スワップの特例処理の要件を満たす金利スワップについては特例処理を適用しておりましたが、デリバティブ取引の実態をより適切に連結財務諸表に反映させることを目的として、第1四半期連結会計期間から原則的な処理方法、すなわち、為替予約及び金利スワップを期末に時価評価する方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

また、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の個別財務諸表を使用し、連結決算日までに生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、ニッポンショックバイ・ヨーロッパ N.V. 他4社については決算日を3月31日に変更し、日触化工（張家港）有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、これらの決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、当該連結子会社の平成29年1月1日から平成29年3月31日までの3か月分の損益について利益剰余金で調整し、キャッシュ・フローについては「連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」で調整し連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,689	114,340	19,293	209,322	—	209,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,574	3,418	723	24,714	△24,714	—
計	96,263	117,758	20,015	234,036	△24,714	209,322
セグメント利益	5,507	9,247	413	15,167	16	15,183

(注) 1. セグメント利益の調整額 16百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	88,935	132,657	21,586	243,177	—	243,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,628	4,365	1,742	31,736	△31,736	—
計	114,563	137,021	23,329	274,913	△31,736	243,177
セグメント利益	9,150	11,076	409	20,635	△243	20,392

(注) 1. セグメント利益の調整額 △243百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒		
減損損失	—	272	—	—	272

(参考情報)

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	41,277	25,438	22,467	9,227	98,410
連結売上高(百万円)					209,322
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.7	12.2	10.7	4.4	47.0

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	53,440	31,349	21,819	11,727	118,335
連結売上高(百万円)					243,177
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.0	12.9	9.0	4.8	48.7

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
- (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
- (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
- (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。